

//////////  
新任教員  
紹介  
//////////

看護学部 看護学科



森 しのぶ 助教

- ① 修士(看護学)
- ② 研究テーマ(専門分野)  
口腔ケア技術
- ③ 基礎看護学技術演習
- ④ 看護について学生の皆さんと一緒に、  
考え学んでいきたいと思ひます。

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負

千里金蘭大学後援会 令和5(2023)年度総会報告

千里金蘭大学後援会 令和5(2023)年度総会は、会員数836名のうち、出席会員および委任状による出席あわせて450名であったことから、本会規程第19条に基づき、総会は有効に成立いたしました。

役員会・総会に先立ち、今年度の会長、副会長および監事の選任報告がありました。その後、新入生保護者役員の選出、令和4(2022)年度事業報告・決算および令和5(2023)年度事業計画・予算が承認されました。

会長:阿部 智子 副会長:寺本 典子 監事:岩佐 純子(敬称略)

総会では、平成30(2018)年度より5年間積み立ててまいりました大学開学20周年記念積立金にて、3号館4階5教室の机および椅子の入替えを実施した旨の報告や令和5(2023)年度より年150万円を4年間積み立てて学生の在学期間中に大規模な設備改修や備品・什器購入に充当する案についてご承認いただきました。

今後も後援会では、いただいたご意見を踏まえ、より良い教育環境の提供をすべく事業の充実を図ってまいります。保護者の皆さまには、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

千里金蘭大学 後援会事務局(千里金蘭大学 総務課内) <http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/> 本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

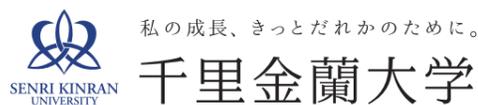
保護者懇談会開催報告

9月24日(日)に保護者懇談会を開催いたしました。保護者懇談会では、前半に就職に関するセミナーを開催し、後半では各学科の報告・個別の面談を実施いたしました。

毎年、多くのご家庭からのご参加を賜り、心より感謝申し上げます。保護者懇談会では、学生の皆さんの学修態度や日常の様子、さらには学校生活に関してお伝えする機会としております。また、保護者の皆さまからのさまざまなご意見につきましては、今後の教育活動の参考とさせていただきます。保護者の皆さまとの連携をさらに深めていくため、今後も懇談会などの機会を増やしてまいります。引き続きのご協力とご支援をお願い申し上げます。

年間スケジュール(後期)

2023	2024
10月 28日(土) 総合型選抜基礎学力型前期A日程 29日(日) 総合型選抜基礎学力型前期B日程	1月 9日(火) 授業開始 12日(金) 臨時休講
11月 3日(金・祝) 祝日授業日 4/5日(土/日) 大学祭(百花繚蘭祭) 19日(日) 総合型選抜チャレンジAOⅢ期 25日(土) 総合型選抜基礎学力型後期	2月 11日(日) 一般選抜(中期)、 総合型選抜エクステンドAO(2月実施) 16日(金) Web成績発表 18日(日) 大学院入試(後期)
12月 17日(日) 総合型選抜チャレンジAOⅣ期 22日(金) 年内最終授業日 26日(火) 冬期一斉休業(12/26-1/6)	3月 3日(日) 一般選抜(後期) 8日(金) 保護者宛成績発送 14日(木) 総合型選抜エクステンドAO(3月実施) 15日(金) 学位授与式
	13/14日(土/日) 大学入学共通テスト 18日(木) 一般選抜(前期)、臨時休講 22日(月) 後期最終授業日 23日(火) 授業予備期間(1/23-29) 30日(火) 専門科目、保育・ 教職科目調整期間 (1/30-2/1)



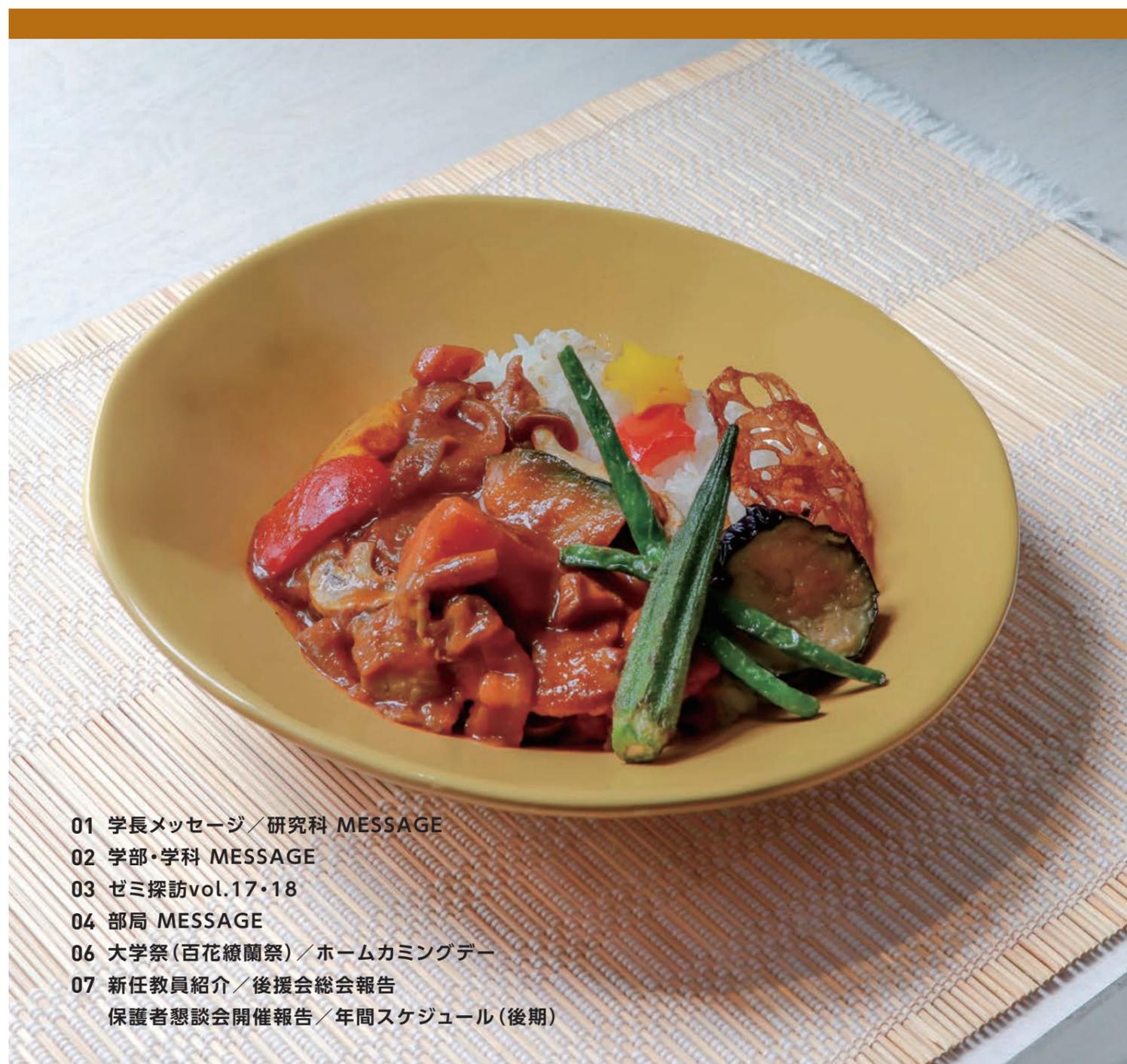
千里金蘭大学 総務課  
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-0673  
発行/令和5(2023)年11月30日  
大学web <https://www.kinran.ac.jp/>  
公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>  
受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>  
受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>  
広報サークル Instagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

編集後記

今年も残り1ヶ月余りとなりました。今年は宝塚カレエグランプリへの出場やみんなの健康展への参加など、学生の皆さんが自ら修得した知識や経験をさまざまなイベントを通して積極的に社会に還元する活動が増えた1年だった気がします。学生の皆さんは、そういった活動を通して、日頃学んでいる専門的知識が社会に求められているという実感が湧いたのではないのでしょうか。今回の学報では、大学全体の地域活動として、研究推進・社会連携センターの活動も紹介していますので、ぜひ一読ください。



私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ/研究科 MESSAGE
- 02 学部・学科 MESSAGE
- 03 ゼミ探訪vol.17・18
- 04 部局 MESSAGE
- 06 大学祭(百花繚蘭祭)/ホームカミングデー
- 07 新任教員紹介/後援会総会報告  
保護者懇談会開催報告/年間スケジュール(後期)

## 学長メッセージ



千里金蘭大学 学長  
福嶋 教偉

本学は開学20周年を迎え、今年度より、女性が社会で大きく活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制として出発しました。また、昨年には大学院看護学研究科修士課程を開設し、今年度は4名が入学し、現在修士課程の勉学、研究に勤しんでいます。これらの大学組織の変革と同時に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、対面の講義だけでなく、多くのイベントを再開できるようになりました。具体的には、9月に栄養学科国際栄養コースが、韓国・釜山の釜山女子大学、そして教育学科の海外インターシップが、英国・ロンドンの前田学園にて、それぞれ海外研修を実施できました。その内容は、本学のホームページでご覧いただけます。さらに、2月には栄養学科国際栄養コースが、ニュージーランド・オークランドでの海外研修を予定しています。

我が国の人口は、コロナ禍の影響もあり、減少速度が加速しており、今後10年で5%減少した後、50年後(2070年)には現在の7割を下回ると見込まれています。かかる現状で、本年6月に閣議決定された『経済財政運営と改革の基本方針2023』では、持続的な経済成長を実現するには、「女性・高齢者の労働参加や資産所得の拡大」、「共働き・共育での推進」(男性育休の取得促進や育児期を通じた柔軟な働き方の推進、多様な働き方と子育ての両立支援)、「全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充」(妊娠期からの切れ目ない支援の拡充や幼児教育・保育の質の向上)、「保育人材の確保の強化と現場の負担軽減」、「養護教諭の支援体制の推進」、そして「栄養教諭を中核とした食育を推進」などが謳われています。つまり、本学の栄養、教育、看護の3学部体制は、まさに我が国の骨太方針に即した学部体制になっています。

また、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でより良い社会の実現に向け世界共通の目標としている、17の持続可能な開発目標(SDGs)のうち、3つの目標が3学部に関係しています。具体的には、目標2『飢餓：飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する』、目標3『保健：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する』、目標4『教育：すべての人に包括的な教育を確保し、生涯教育の機会を促進する』は、各々栄養学部、教育学部、看護学部の目指す目標だと思えます。

このような目標を達成できるように本学では、吹田市、国立循環器病研究センターと連携して栄養学科のゼミ生が、中学校給食における食育推進活動に参画したり、女性の社会参入に欠かせない育メンの教育研修を行ったりしています。また、卒業後社会に出てから改めて専門的な勉強をしたい学生には、本学でリカレント研修を行い、教育を受ける場を提供していきたいと考えています。

是非、学生の皆さんは、千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私たちは全力で応援します。

## 学部・学科 MESSAGE

### [ 栄養学部 栄養学科 ]

栄養学部長・栄養学科長 鎌田 洋一

#### 海外研修で実りある体験を実現

2023年4月に栄養学部栄養学科となり、学部・学科として、より個性を發揮できるようになりました。2021年に設定した「国際栄養コース」は、海外研修や世界各国の料理についての調理を経験するなど、本学独自の修学コースです。コロナウイルス感染症が収まり、3年越しに、韓国・釜山に研修に行くことができました。「海外で、その国の料理をその国のシェフから学ぶ、またその国の食文化を現地で直接経験する、現地の女子大生と交流する」を実現することができました。研修に参加した学生の皆さんの、生き生きした報告会は、とても実りあるものでした。「国際調理学実習」も始まりました。フランス・中華料理を新阪急ホテル総料理長に教わり、ハラール(イスラム)料理について京都料理学校長から指導を受け、キューバ料理を箕面市国際交流会館カフェのシェフから学びました。栄養学部栄養学科は変わってゆきます。



### [ 教育学部 教育学科 ]

教育学部長・教育学科長 島 善信

#### 多様な体験を通じ、確かな教育・保育のプロへ

教育学部教育学科が新たにスタートし、4月には第1期生41名を迎えました。教育・保育現場は本来の日常活動が再開、どの体験活動からもたくさん学びました。1年生の「金蘭おやこクラブ」には初めて卒業生が登録、幼児との触れあいの良きロールモデルとなっています。また、「子ども地域活動」は地域に学ぶ多様な活動を体験しました。2年生のインターンシップは初めての学校園などでの職場体験、直接子どもに向き合う機会でした。3年生は、手作りプレゼントをもらい喜ぶ子どもに感動した保育実習、多忙な現場の中温かい指導を受けた小学校実習を通じ、教育・保育の魅力を存分に体験して自信を深めました。4年生は、幼稚園実習とこども音楽療育実習が無事に終わりました。英国の幼稚園での海外研修は4年ぶりに再開、6名が参加しました。多様な体験活動で教育・保育のプロへと確かな歩みを進めています。



### [ 看護学部 看護学科 ]

看護学部長・看護学科長 藤田 俱子

#### 素晴らしい学生生活と理想とする看護職を目指して

4月に新1年生106名を迎え、新しい年度となりました。1年生は前期で早期体験実習があり、初めての臨地実習を経験し、看護職を目指す学生として大きく成長したと思います。2年生も前期に基礎看護学実習Ⅱを経験し、さらに学ぶべきことを意識したのではないのでしょうか。3年生は後期から領域別実習が始まり、目まぐるしい毎日のことと思います。日々新しい発見と学びを得て、看護職を目指す自分自身をさらに意識したことと思います。4年生は入学してから初めて、そして最後の行動制限がかからない夏を経験したことと思います。良い学生時代の思い出ができていてを願っています。そしてこれからは国試に向けラストスパートです。充実した毎日を通して学生の皆さんには理想とする看護職を目指して頑張ってもらいたいと思っています。



小児看護学援助論演習の場面です。日本で40体しかないモデル人形を使用して血圧測定を行っているところです。モデル人形の右腕に巻いているのが血圧計のマンシェットです。写真右上にある機械で血圧の値を設定して、学生には見えないようにしています。

## 研究科 MESSAGE

### [ 大学院 看護学研究科 ]

看護学研究科長 登喜 和江



#### 共に学び共に発展する学修環境の中で

看護学研究科FD委員会は、教員、大学院生、教学センター職員がメンバーとなり、多角的な視点で「教員が大学における教育の改善や向上を図るための研究や研修などの支援・企画を組織的な方策や活動」として行っています。今回、看護学部・看護学研究科の共同開催で、「ライティングを評価する」をテーマとしたFD研修会に学部教員・大学院教員と共に院生も参加しました。自身のレポート作成は勿論のこと、職場で指導者としての役割を担う院生にとって、スタッフ指導に活かすことができる企画でした。また、グループワークでの意見交換では互いの視点の面白さに気づき、改めて「一文一義」「パラグラフ・ライティング」「私語り」について評価者の視点でレポートを見直すこと、客観的な表現や評価の観点を共有することについて共に学ぶ機会を得ることができました。

Seminar  
ゼミ探訪 vol. 17  
栄養学科  
公衆栄養学ゼミ



中村 清美 准教授

疾病予防や健康増進に役立てるために  
「理論と実践」を軸に活動します。

公衆栄養学は人間集団を対象とした学問領域で、理論と実践活動の両輪で成り立っています。集団の健康問題について、栄養素・食物・食生活・食習慣などさまざまな栄養学的要因との関連を明らかにし、その知見を疾病予防や健康増進に役立てることを目的としています。

ゼミ活動のテーマは、①食品ロス削減推進、②野菜摂取量増加と朝食欠食率減少、③減塩推進を主としており、①②は大阪府との連携で府内他大学との協働実施、③は吹田市や国立循環器病研究センターとの連携で進めています。①は、この3年間で、本学学生の食品ロス行動や意識の実態調査、卒研ゼミと実践ゼミが協力して啓発媒体(ポスターやレシピ動画、クックパッド掲載など)の開発などに取り組み、実際にその媒体を活用することも多くなりました。学生が一般住民に啓発する機会も増えています。また今年度は、③について、国立循環器病研究センターの「かるしおプロジェクト」を応援する活動に実践ゼミで取り組んでいます。「かるしお認定商品」を一般商品と食べ比べて、その美味しさを伝える記事を学科Instagramで発信するなど、啓発実践の形もさまざまです。これからも、「理論と実践」を軸にゼミ活動を進めていきたいと思っています。



Seminar  
ゼミ探訪 vol. 18  
教育学科  
音楽ゼミ



伊原木 幸馬 講師

音楽ゼミへようこそ！

音楽ゼミでは、音楽による子ども支援の企画やフィールドワークとしての音楽会の開催を目指しています。音楽会に必要なステージングや制作物、選曲や司会、音楽会全体の流れなどについて、学生同士のコミュニケーションを重視し、ディスカッションを行いながら進めています。これらを通して、音楽ゼミの学生は、音楽表現を通じた子ども支援について、知識と技術の修得を目指しながら、実践力を身につけていきます。

これまでに、金蘭会保育園において、前期では「夏の音楽会」、後期では「クリスマス音楽会」を開催しました。2023年度はそれらに加え、7月には、学内「子育てひろばOh!キッズ」において「音楽会」、8月には、吹田市文化会館メイシアターにおいて「0歳から楽しめる！きんらんファミリーコンサート～ゼミ生と教員がつむぐ音楽の日～」を開催しました。会場にはたくさんのお子様たちが来場し、あたたかく楽しいコンサートとなりました。



部局 MESSAGE

研究推進・社会連携センター

センター長 石川 秀明

改組から2年が経過した今、  
さらに学内と行政・企業・地域の橋渡しの役割を担っていきます。

2021年4月1日に地域共創センターから改組した研究推進・社会連携センターは、改組より2年が経過し、旧センターからの「大学と社会を結ぶ窓口」という役割に加え、学内の研究資源と行政・企業・地域との橋渡しを新たな目的としています。

センターの重要な役割である地域貢献活動として「きんらん保健室ひだまり」を運営しています。「きんらん保健室ひだまり」は、千里金蘭大学3学部の教員と学生が企画・運営する団体で、吹田市内の駅前など大学近隣において「健康相談・栄養相談」「小児健康測定体験」「適正飲酒」「食育活動」といった健康をサポートする活動を行っています。また、「生涯学習吹田市民大学 千里金蘭大学キャンパス講座」を開催し、本学で取り組んでいる教育・研究成果を公開し、地域の高等教育機関として生涯教育の場を提供しています。

一方、研究推進として、教員の教育や研究のコンテンツを集積した「教育・研究シーズ集」を毎年発行しています。このシーズ集では、それぞれの教育活動や研究内容がどのような「持続可能な開発目標(SDGs)」と結びついているのかを記載しており、本学の知的資源として学外に発信し、各種企業や行政機関との連携を推進しています。

また、本年度より3学部が連携し、未就学児の父親の育児参加を促すことを目的とした「お父さんに役立つ育児セミナー」を行っています。この活動は、社会貢献活動としてだけでなく、未就学児の父親を対象に継続的に知識や育児技術を学べる育児教育プログラム開発を目指した研究活動としても実施しています。



ひだまりの  
活動写真



生涯学習吹田市民大学  
千里金蘭大学  
キャンパス講座



お父さんに役立つ  
育児セミナー



## 部局 MESSAGE

### 学修・キャリア総合支援センター

センター長 岩谷 智

#### ジョブズの言葉

Appleの創業者スティーブ・ジョブズに「Connecting The Dots」という言葉があります。ここでいうdotsとは知識や経験のことですが、かならずしも「目標に向かって一つひとつ努力していこう」という意味ではありません。「点をたくさん打ち続けていこう。そうすればあとから振り返ったときにつながりや意味がわかってくる」というメッセージです。大学生活のなかで、いまやっていることが将来どのように役立つのか、悩むこともあるかもしれません。しかし点と点はなんらかのかたちでかならずつながります。学修や進路に悩んだときには、ぜひ私たちのセンターに足を運んでください。待っています。



学内企業説明会の様子

### アドミッションセンター

#### 「就職力が高い大学」・「面倒見が良い大学」

大学通信調べによる大学ランキングで上位にランクイン。「実就職率ランキング」近畿女子大学2位となったほか、進路指導教諭が評価する大学として「面倒見が良い大学」近畿女子大学3位、「小規模だが評価できる大学」近畿女子大学4位となりました。また、受験生が評価する大学としても、「就職力が高い大学」近畿女子大学1位、「施設設備・立地環境が良い大学」近畿女子大学2位となり、企業・高校・受験生と多くの皆さまから高い評価をいただきました。今後も本学の強みが伝わる魅力ある情報発信を行ってまいります。



### 附属図書館

附属図書館長 白木 公康

#### 図書館の新しい学修支援

附属図書館では、「学びの場」「憩いの場」「グループ学修の場」「充電の場」として、学生の皆さんの学修を支援するための取組みを進めています。

勉強しながら充電できるよう、2階の閲覧室内・自習室内に充電スポットを設置しました。閲覧室内の充電スポットにはリラクセスできるソファがあり、充電しながら読書を楽しんだり、勉強の合間の休憩にご利用いただけます。

漫画コーナーの充実も進めています。漫画を活用し、学びへの意欲・関心を高めてほしい、職業漫画での疑似体験を通じて自分の将来像をより明確化してほしいと考えています。シリーズの読破で表彰状がもらえる漫画スタンプラリー企画も実施中です。

ぜひ、附属図書館に立ち寄る機会を増やして、充実した学生生活に役立ててください。



充電スポット  
iPhoneとAndroid  
両方充電できます。



漫画コーナー  
冊数が増えました。  
リクエストも受付けています。

### 教学センター

#### 困難、疑問など何でも相談に来てください。

9月21日より後期が開始されました。教学センターでは、学生の皆さんが充実した学びの時間を過ごせるよう、学修面以外でも健康に関することや、日常生活などのサポートをしています。特に奨学金については、日本学生支援機構以外にも多くの奨学金制度を紹介しています。それぞれの制度により募集時期や出願方法などが異なりますので、メール、所定の掲示板をご確認ください。

後期においても授業や活動に取り組む中で、困難や疑問を感じることも、相談したいことがあれば、遠慮なくお問い合わせください。



## 2023 大学祭

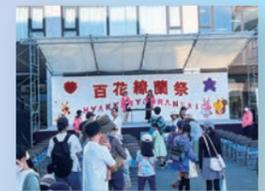
今年の大学祭は、多くの来場者を迎えられるよう模擬店やイベントブースを以前のように戻した形での開催とすることができました。

学生の模擬店や職員によるラグビー教室以外にも卒業生や企業・NPO法人にも出展いただき、多彩なイベントで大学祭を盛り上げていただきました。また、「千里祭り2023」と共催し、多くの地域住民の方にもお越しいただくことができました。

当日は天気にも恵まれ、初日から賑やかでした。毎年恒例の花火も大歓声の中、打ち上げられ、会場は「百花繚蘭祭」の名にふさわしい、多くの学生・来場者の笑顔で溢れました。



# 百花繚蘭祭



### ホームカミングデー

さわやかな秋晴れの下、11月4日にホームカミングデーが開催されました。第1部ではキャリアセミナーを実施しました。少人数の参加ではありましたが、卒業生が日々働く中での悩みや苦勞をカウンセラーに相談することにより、前向きに考えられるようになったと好評でした。また、第2部として各学科ごとに「同窓会」を実施し、近況報告や昔話に花を咲かせ、旧友や先生と楽しいひとときを過ごすことができました。締めくくりとして、百花繚蘭祭最大のイベントである夜空に輝く打ち上げ花火を鑑賞し、大いに盛り上がりました。

